

今後の佐渡博物館展示室の活用について

【佐渡博物館の展示室の現況】※別紙1参照

- 1階展示室 佐渡金銀山展示室
- 2階展示室 美術・工芸展示室、常設展示室
- 中庭 ロックガーデン、旧浅島家住宅・旧土屋家土蔵、竪穴式住居、高床式倉庫
- ホール パネル、パンフレット、ポスター等の情報提供コーナー

- ・1階佐渡金銀山展示室は、平成21年[2009]に行われた特別展「佐渡金銀山展」のなごりが今日まで主だった展示替えもなく、常設展示化している。
- ・2階美術・工芸展示室は、「佐渡の美術・工芸」を展示。ただし、特別展もしくは企画展の際には一部屋もしくは半分に分けて使用。そのため、一部屋利用した場合、その会期中は「佐渡の美術・工芸」が展示できない。
- ・土田麦僊資料（約500点）は財団時代から主要資料の一つだが、特別展もしくは企画展会期中は展示できず、麦僊資料が見れない状況となる。
- ・縄文時代の常設展示が弱いので、その部分を強化したい。
- ・常設展示のパネルが財団時代のままで古くなっているため、リニューアルが必要。

【今後の展示室の活用】

- ・1階展示室は流動的に展示も含め、多目的に使用できるような展示室にする。
Ex. 2階で特別展もしくは企画展の場合、1階で「佐渡の美術・工芸」を展示
1階で特別展もしくは企画展を展示、講座や体験のできるスペースとして活用、等
そうすることで、「佐渡の美術・工芸」が展示でき、見れない状況がなくなる。
- ・今年度4月にきらりうむ佐渡がオープンしたことから、1階佐渡金銀山展示室の資料を撤去。2階常設展示「佐渡の歴史（近世）」もしくは平ケース内を利用して金銀山資料を展示予定。
- ・常設展示パネルが古くなっているため、来年度の予算にパネル作成の経費を計上予定。



佐渡博物館のパフレットより引用